



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 京福電気鉄道株式会社
 コード番号 9049 URL <https://www.keifuku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 憲郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 長尾 拓昭
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 075-841-9385

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,527	4.3	910	21.1	903	22.1	585	21.7
2019年3月期第2四半期	6,258	8.6	751	24.5	739	24.9	481	62.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 649百万円 (22.3%) 2019年3月期第2四半期 531百万円 (53.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	294.45	
2019年3月期第2四半期	241.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,001	8,126	36.9
2019年3月期	20,120	7,520	34.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,380百万円 2019年3月期 6,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,670	2.1	980	6.4	950	8.8	720	3.0	362.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,000,000 株	2019年3月期	2,000,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	11,926 株	2019年3月期	11,811 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,988,086 株	2019年3月期2Q	1,988,198 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項については3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	9
(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)	9
(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続き企業収益は高い水準で底堅く推移しました。一方で、消費税率の改定を控え内需の下振れが懸念され、さらに、通商問題など国際情勢による経済リスクが高まり、景気の先行きは不透明な状況にありました。

このような状況のもと、当社グループでは、2019年6月に策定した中期経営計画をスタートさせました。各事業において、目標達成のためのロードマップを策定し、京都地区におきましては、「らんでんすもすもプロジェクト」の推進、福井地区におきましては、JR福井駅周辺の保有資産の有効活用など各事業の将来を見据えた取組みを実施しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は6,527百万円（前年同期比269百万円、4.3%増）となり、営業利益は諸経費の執行時期の変更による営業費用の減少もあり910百万円（前年同期比158百万円、21.1%増）となりました。これに営業外収益および営業外費用を加減した経常利益は903百万円（前年同期比163百万円、22.1%増）となりました。さらに、2018年の台風21号による損害保険金の受取りなどの特別利益や特別損失ならびに法人税等を加減し、親会社株主に帰属する四半期純利益は585百万円（前年同期比104百万円、21.7%増）となりました。

次に、セグメント別の状況をご報告いたします。

① 運輸業

鉄軌道事業におきまして、嵐山線では、インバウンド情勢において日韓関係の悪化などの影響が懸念されましたが、その他の国からのお客様のご利用により輸送人員は増加しました。人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーション企画など利用促進策の実施や、2019年春に修復落慶した、仁和寺観音堂の仏像や障壁画を車内外にデザインした嵐電「観音電車」の運行、嵐電を舞台に撮影された映画「嵐電」の公開による情報発信量の増加などもご利用人員の増加に寄与しました。なお、2019年4月より、電車内でも全国相互利用ICカードにチャージができるよう設備を改良し、お客さまの利便性向上を図りました。鋼索線（叡山ケーブル・ロープウェイ）は、2018年の叡山電鉄「ひえい」デビューによる比叡山方面への波及効果が減少し減収となりましたが、秋季観光シーズンの利用促進につなげるべく、瑠璃光院夜間拝観と叡山ケーブル、叡山電鉄をセットにした商品造成などの準備を進めました。

バス運送事業におきまして、京都バス(株)では、岩倉北部・市原地域への均一運賃区間拡大、トラフィカ京カードへの参画、および北大路バスターミナルへの乗り入れ開始等、京都市交通局とのシームレス化推進に継続して取り組みました。京福バス(株)では、2018年開催された「福井しあわせ元気国体・元気大会」の反動減はあるものの、2018年の路線バスのダイヤ改正に引き続き、2019年4月に路線の整理による効率化を図るとともに、高齢のお客さまを対象にした「いきいき定期」の適用範囲を拡大するなど、利用促進策を実施しました。高速バスでは、2019年6月に名古屋線・東京線の運賃改定を実施する一方で、全車両にWi-Fi設備を完備しサービス向上に努めました。また、福井地区のグループ内でのバスとタクシーの連携を強化し、乗換え時間の短縮などお客様の利便性の向上を図ってまいります。

以上の結果、運輸業の営業収益は3,960百万円（前年同期比73百万円、1.9%増）となり、営業利益は361百万円（前年同期比73百万円、25.7%増）となりました。

② 不動産業

不動産販売事業および不動産賃貸事業におきましては、沿線の定住人口の増加を目指した「らんでんすもすもプロジェクト」では、新たに新築戸建分譲用素地の仕入れに着手したほか、2018年に取得した2棟の賃貸物件は、入居者が決まりました。また、不動産賃貸事業では、各賃貸施設において積極的な営業活動により入居率の向上を図りました。「BOAT RACE（ボートレース）三国」では、プレミアムG I レース「ヤングダービー」が9月18日から6日間開催されたほか、「モーニングレース」も前年に引き続き開催されました。さらに、他場レースの舟券の購入機会を増やすとともに、スマートフォン等への情報発信やキャンペーンなど、積極的な販売活動を行い、賃貸収入の増収に努めました。

以上の結果、不動産業の営業収益は1,739百万円（前年同期比169百万円、10.8%増）となり、営業利益は412百万円（前年同期比46百万円、12.8%増）となりました。

③ レジャー・サービス業

飲食、物販業におきまして、「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」では、夏季恒例の「RANDEN EKI-BEER 2019」で「地産地消」をテーマに嵐電沿線の食材や調味料を使用したメニューを提供し好評を博しました。また、直営店舗「らんでんや」では、アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーションメニューやグッズの販売により増収となりました。

三国観光ホテルやホテル京福では、インターネット販売の強化や、需要予測による価格設定で収益の最大化を図る販売方法により、稼働率や売り上げの向上に努めました。越前松島水族館では、夏場の天候にも恵まれ、開館60周年を迎え新設した、越前ガニやウナギなどの海の幸に触れられる「海の幸タッチコーナー」に人気が集まり、磯の生物観察や地引網体験など、多くの家族連れのお客さまにお楽しみいただきました。

以上の結果、レジャー・サービス業の営業収益は1,049百万円（前年同期比4百万円、0.4%増）となり、営業利益は133百万円（前年同期比36百万円、38.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、減価償却による有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ118百万円減少し、20,001百万円となりました。負債は、未払金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ724百万円減少し、11,875百万円となりました。純資産は、期末配当を実施した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ605百万円増加し、8,126百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえて、2019年5月9日に発表した計画から変更し、営業収益12,670百万円（前期比2.1%増）、営業利益980百万円（前期比6.4%増）、経常利益950百万円（前期比8.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益720百万円（前期比3.0%増）といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,028	1,108
受取手形及び売掛金	1,236	1,152
販売土地及び建物	77	88
商品及び製品	26	24
仕掛品	0	73
原材料及び貯蔵品	42	44
前払費用	37	43
その他	549	484
貸倒引当金	△3	△8
流動資産合計	2,995	3,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,693	9,560
機械装置及び運搬具(純額)	1,463	1,304
土地	3,886	3,906
リース資産(純額)	840	946
建設仮勘定	21	124
その他(純額)	349	328
有形固定資産合計	16,254	16,172
無形固定資産	183	174
投資その他の資産		
投資有価証券	247	245
繰延税金資産	170	136
その他	277	263
貸倒引当金	△10	△3
投資その他の資産合計	685	642
固定資産合計	17,124	16,989
繰延資産		
社債発行費	1	0
繰延資産合計	1	0
資産合計	20,120	20,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51	63
短期借入金	3,509	3,380
1年内償還予定の社債	45	42
リース債務	155	166
未払金	1,110	526
未払法人税等	274	340
未払消費税等	78	152
賞与引当金	216	237
その他	511	457
流動負債合計	5,953	5,367
固定負債		
社債	19	—
長期借入金	4,310	4,204
リース債務	735	825
長期未払金	345	304
繰延税金負債	622	571
役員退職慰労引当金	53	48
退職給付に係る負債	237	230
その他	322	323
固定負債合計	6,646	6,507
負債合計	12,599	11,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	291	292
利益剰余金	5,511	6,056
自己株式	△19	△19
株主資本合計	6,783	7,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	51
その他の包括利益累計額合計	53	51
非支配株主持分	683	745
純資産合計	7,520	8,126
負債純資産合計	20,120	20,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	6,258	6,527
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	5,457	5,567
販売費及び一般管理費	49	49
営業費合計	5,506	5,617
営業利益	751	910
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
助成金収入	6	—
雑収入	13	18
営業外収益合計	26	24
営業外費用		
支払利息	25	25
社債発行費償却	0	0
貸倒引当金繰入額	10	0
雑支出	1	4
営業外費用合計	37	31
経常利益	739	903
特別利益		
受取保険金	29	35
補助金収入	—	30
固定資産売却益	89	6
特別利益合計	118	72
特別損失		
固定資産除却損	25	4
災害による損失	38	—
特別損失合計	63	4
税金等調整前四半期純利益	794	971
法人税、住民税及び事業税	310	335
法人税等調整額	△46	△16
法人税等合計	263	319
四半期純利益	530	651
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	585

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	530	651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△2
その他の包括利益合計	0	△2
四半期包括利益	531	649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481	583
非支配株主に係る四半期包括利益	50	66

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	3,876	1,475	906	6,258	—	6,258
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	10	94	138	243	△243	—
計	3,887	1,569	1,044	6,502	△243	6,258
セグメント利益	287	365	96	750	0	751

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	3,950	1,653	924	6,527	—	6,527
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	10	86	125	222	△222	—
計	3,960	1,739	1,049	6,749	△222	6,527
セグメント利益	361	412	133	908	1	910

(注) 1 セグメント利益の調整額1百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位:百万円)

科目	前事業年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2019年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	621	657
現金及び預金	317	398
未収運賃	57	52
未収金	167	42
未収収益	38	68
販売土地及び建物	0	10
貯蔵品	16	16
前払費用	8	8
その他の流動資産	15	60
固定資産	12,960	12,763
鉄軌道事業固定資産	3,257	3,147
兼業固定資産	8,501	8,406
各事業関連固定資産	75	74
建設仮勘定	0	17
投資その他の資産	1,124	1,117
投資有価証券	162	156
関係会社株式	826	827
出資金	1	1
長期前払費用	1	2
その他	133	130
貸倒引当金	△1	—
繰延資産	1	0
社債発行費	1	0
資産合計	13,583	13,421

(単位：百万円)

科目	前事業年度末 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間末 (2019年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	4,270	3,885
短期借入金	1,750	1,750
関係会社短期借入金	240	212
1年内返済予定の長期借入金	1,364	1,397
1年内償還社債	45	42
リース債務	—	0
未払金	498	79
未払費用	76	27
未払法人税等	82	126
未払消費税等	18	48
預り連絡運賃	1	1
預り金	81	49
前受運賃	26	37
前受収益	54	60
賞与引当金	28	47
その他の流動負債	3	3
固定負債	5,152	5,106
社債	19	—
長期借入金	3,982	3,963
長期リース債務	—	2
長期未払金	95	82
繰延税金負債	862	861
資産除去債務	5	5
長期預り金	34	42
長期預り保証金	152	147
負債合計	9,423	8,992
(純資産の部)		
株主資本	4,131	4,405
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	270	270
資本準備金	270	270
利益剰余金	2,879	3,154
利益準備金	46	46
その他利益剰余金	2,833	3,108
固定資産圧縮積立金	1,556	1,538
繰越利益剰余金	1,277	1,570
自己株式	△19	△19
評価・換算差額等	28	24
その他有価証券評価差額金	28	24
純資産合計	4,159	4,429
負債純資産合計	13,583	13,421

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
鉄軌道事業		
営業収益	758	793
営業費	710	739
営業利益	47	54
兼業		
営業収益	648	672
営業費	386	369
営業利益	262	303
全事業		
営業収益	1,407	1,466
営業費	1,096	1,109
営業利益	310	357
営業外収益	34	41
営業外費用	35	26
経常利益	308	372
特別利益	98	65
特別損失	38	—
税引前四半期純利益	368	437
法人税、住民税及び事業税	122	122
法人税等調整額	△14	0
四半期純利益	260	314